【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-308038(P2000-308038A)
【公開日】平成12年11月2日(2000.11.2)
【出願番号】特願平11-110975
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/173　６１０Ｂ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６３０
Ｈ０４Ｎ　7/173　６４０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月21日(2006.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
番組の映像や音声から成るＡＶデータを送信する放送送信装置と、受信信号の蓄積手段を備えた放送受信装置とを有する蓄積型放送システムにおいて、
前記放送送信装置は、
ＡＶデータを蓄積するＡＶ素材蓄積手段と、
前記ＡＶ素材蓄積手段からＡＶデータを選択するＡＶ素材選択手段と、
ＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させるＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と、前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報を蓄積する提供情報蓄積手段と、
前記提供情報蓄積手段から前記提供情報と前記有効化情報を選択する提供情報選択手段と、
前記ＡＶ素材選択手段で選択されたＡＶデータと前記提供情報選択手段で選択された前記提供情報と前記有効化情報とを多重化して多重化信号を生成する多重化手段と、
前記多重化信号を送出規則に従って放送信号に変換し送出を行う送出手段とを備え、
前記放送受信装置は、
放送信号を受信する受信手段と、
前記受信手段が受信したデータを前記ＡＶデータと前記提供情報と前記有効化情報とに分離する分離手段と、
分離された前記ＡＶデータの蓄積処理を行うＡＶデータ蓄積処理手段と、前記ＡＶデータ蓄積処理手段によって蓄積処理されたＡＶデータを蓄積するＡＶデータ蓄積手段と、
必要なＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段から選択するＡＶデータ選択手段と、
前記分離手段からの前記ＡＶデータと前記ＡＶデータ選択手段からの前記ＡＶデータとで外部出力するＡＶデータを決定するＡＶデータ出力制御手段と、
前記ＡＶデータ出力制御手段からの前記ＡＶデータを外部出力するＡＶデータ外部出力手段と、
前記分離手段で分離された前記提供情報に対して、受信もしくは蓄積した前記ＡＶデータの一部もしくは全部を指定するようにした提示情報に変換する提示情報蓄積処理手段と、

前記提示情報と前記有効化情報を蓄積する提示情報蓄積手段と、
前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の一部もしくは全部を前記有効化情報に基づいて選択し、選択した提示情報をもとに前記ＡＶデータ選択手段にＡＶデータの選択指示を行う提示情報選択手段と、
前記提示情報選択手段からの提示情報を外部出力する提示情報外部出力手段とを備えることを特徴とする蓄積型放送システム。

【請求項２】
前記放送送信装置から送信されたＡＶデータの全てを蓄積するＡＶデータ提供装置を具備し、前記放送受信装置が、再生視聴しようとする前記ＡＶデータが自らの蓄積手段に蓄積されていないとき、前記ＡＶデータを前記ＡＶデータ提供装置から入手することを特徴とする請求項１に記載の蓄積型放送システム。

【請求項３】
番組の映像や音声から成るＡＶデータを蓄積するＡＶ素材蓄積手段と、
前記ＡＶ素材蓄積手段からＡＶデータを選択するＡＶ素材選択手段と、
ＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させることを意図するＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と、前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報を蓄積する提供情報蓄積手段と、
前記提供情報蓄積手段から前記提供情報と前記有効化情報を選択する提供情報選択手段と、
前記ＡＶ素材選択手段で選択されたＡＶデータと前記提供情報選択手段で選択された前記提供情報と前記有効化情報とを多重化して多重化信号を生成する多重化手段と、
前記多重化信号を送出規則に従って放送信号に変換し送出を行う送出手段とを備えることを特徴とする放送送信装置。

【請求項４】
前記提供情報が、階層構造に体系化された提供要素で構成され、前記提供情報選択手段が、前記提供要素の一部または全部を選択することを特徴とする請求項３に記載の放送送信装置。

【請求項５】
前記提供情報が、指定する前記ＡＶデータにリンク付けされていることを特徴とする請求項３または４に記載の放送送信装置。

【請求項６】
前記提供要素に、リンク付けされた前記ＡＶデータの情報が記述されていることを特徴とする請求項５に記載の放送送信装置。

【請求項７】
前記リンク付けされたＡＶデータが、時間の経過につれて変更されることを特徴とする請求項５または６に記載の放送送信装置。

【請求項８】
情報提供者が前記ＡＶデータの再生視聴を意図する範囲を切出情報によって特定し、前記提供情報が、前記切出情報にリンク付けされることに特徴とする請求項３または４に記載の放送送信装置。

【請求項９】
前記提供情報に、放送受信装置における前記提示情報の蓄積後の提示方法が指定されることを特徴とする請求項８に記載の放送送信装置。

【請求項１０】
放送信号を受信する受信手段と、
前記受信手段が受信したデータを番組の映像や音声から成るＡＶデータとＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させることを意図するＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報とに分離する分離手段と、
分離された前記ＡＶデータの蓄積処理を行うＡＶデータ蓄積処理手段と、

前記ＡＶデータ蓄積処理手段によって蓄積処理されたＡＶデータを蓄積するＡＶデータ蓄積手段と、
必要なＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段から選択するＡＶデータ選択手段と、
前記分離手段からの前記ＡＶデータと前記ＡＶデータ選択手段からの前記ＡＶデータとで外部出力するＡＶデータを決定するＡＶデータ出力制御手段と、
前記ＡＶデータ出力制御手段からの前記ＡＶデータを外部出力するＡＶデータ外部出力手段と、
前記分離手段で分離された前記提供情報に対して、受信もしくは蓄積した前記ＡＶデータの一部もしくは全部を指定するようにした提示情報に変換する提示情報蓄積処理手段と、
前記提示情報と前記有効化情報を蓄積する提示情報蓄積手段と、
前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の一部もしくは全部を前記有効化情報に基づいて選択し、選択した提示情報をもとに前記ＡＶデータ選択手段にＡＶデータの選択指示を行う提示情報選択手段と、
前記提示情報選択手段からの提示情報を外部出力する提示情報外部出力手段とを備えることを特徴とする放送受信装置。
【請求項１１】
実時間で受信するＡＶデータを前記分離手段で分離して外部出力するとともに、そのＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段に蓄積し、実時間で受信する前記提供情報をもとに外部出力すべき前記提示情報を生成し、その中の任意の提示情報が選択されたとき、蓄積しているＡＶデータの該当するデータを再生することを特徴とする請求項１０に記載の放送受信装置。
【請求項１２】
前記提示情報蓄積手段が、前記提示情報を予め蓄積し、前記放送送信装置から有効化情報が送信されたとき、前記提示情報選択手段が、前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の中から前記有効化情報によって有効化された提示情報を選択することを特徴とする請求項１０に記載の放送受信装置。
【請求項１３】
前記提示情報蓄積手段が、放送送信装置から送信されたＡＶデータの再生視聴範囲を特定する切出情報を蓄積し、前記提示情報選択手段が、前記提示情報と前記切出情報とを利用して、前記ＡＶデータ選択手段に対するＡＶデータの選択指示を行うことを特徴とする請求項１０に記載の放送受信装置。
【請求項１４】
前記提示情報選択手段によって選択される提示情報が、利用者によって設定された規則、または前記ＡＶデータ出力制御手段から出力されたＡＶデータの出力履歴に基づいて制限されることを特徴とする請求項１０に記載の放送受信装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
【発明の実施の形態】
本発明の請求項１に記載の発明は、番組の映像や音声から成るＡＶデータを送信する放送送信装置と、受信信号の蓄積手段を備えた放送受信装置とを有する蓄積型放送システムにおいて、前記放送送信装置は、ＡＶデータを蓄積するＡＶ素材蓄積手段と、前記ＡＶ素材蓄積手段からＡＶデータを選択するＡＶ素材選択手段と、ＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させるＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と、前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報を蓄積する提供情報蓄積手段と、前記提供情報蓄積手段から前記提供情報と前記有効化情報を選択する提供情報選択手段と、前記ＡＶ素材選

択手段で選択されたＡＶデータと前記提供情報選択手段で選択された前記提供情報と前記有効化情報とを多重化して多重化信号を生成する多重化手段と、前記多重化信号を送出規則に従って放送信号に変換し送出を行う送出手段とを備え、前記放送受信装置は、放送信号を受信する受信手段と、前記受信手段が受信したデータを前記ＡＶデータと前記提供情報と前記有効化情報とに分離する分離手段と、分離された前記ＡＶデータの蓄積処理を行うＡＶデータ蓄積処理手段と、前記ＡＶデータ蓄積処理手段によって蓄積処理されたＡＶデータを蓄積するＡＶデータ蓄積手段と、必要なＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段から選択するＡＶデータ選択手段と、前記分離手段からの前記ＡＶデータと前記ＡＶデータ選択手段からの前記ＡＶデータとで外部出力するＡＶデータを決定するＡＶデータ出力制御手段と、前記ＡＶデータ出力制御手段からの前記ＡＶデータを外部出力するＡＶデータ外部出力手段と、前記分離手段で分離された前記提供情報に対して、受信もしくは蓄積した前記ＡＶデータの一部もしくは全部を指定するようにした提示情報に変換する提示情報蓄積処理手段と、前記提示情報と前記有効化情報を蓄積する提示情報蓄積手段と、前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の一部もしくは全部を前記有効化情報に基づいて選択し、選択した提示情報をもとに前記ＡＶデータ選択手段にＡＶデータの選択指示を行う提示情報選択手段と、前記提示情報選択手段からの提示情報を外部出力する提示情報外部出力手段とを備えることを特徴としている。このシステムでは、放送送信装置側の情報提供者が意図して作成した情報を、意図したときに送信し、放送受信装置側の利用者は放送送信装置側の情報提供者が意図したように情報を受け取ることができ、その情報をもとにこれまでに放送された番組の一部または全部を見ることができる。放送受信装置では、提供情報をそのときに多重化されたＡＶデータ、あるいは蓄積されているＡＶデータに関係付けた提示情報を作成して蓄積することにより、ＡＶデータを後日再生する場合でも、情報提供者が意図した通りの番組視聴が行われる。また、放送送信装置からの提供情報の一部または全部をあらかじめ送信しておき、現在放送している番組内容に関連する情報として提供したいときには、これまでに放送したＡＶデータにリンク付けされた提供情報の中から有効となる提供情報の要素を検索、抽出するための有効化情報を送信するだけでよいので、情報提供者の情報を提供する操作が軽減される。また、実時間においてＡＶデータと多重化させて送信するデータ量も削減できる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項２に記載の発明は、放送送信装置から送信されたＡＶデータの全てを蓄積するＡＶデータ提供装置を設け、放送受信装置が、再生視聴しようとする前記ＡＶデータが自らの蓄積手段に蓄積されていないとき、前記ＡＶデータを前記ＡＶデータ提供装置から入手できるようにしたものであり、これにより、これまでの番組をすべて蓄積していない、あるいは蓄積することのできない放送受信装置であっても、ＡＶデータの一部または全部を管理し、必要に応じて送信してくれるＡＶデータ提供装置があるために、これまでに放送されたＡＶデータを再生しようとした場合には、必ず再生することができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２０】
請求項３に記載の発明は、番組の映像や音声から成るＡＶデータを蓄積するＡＶ素材蓄積手段と、前記ＡＶ素材蓄積手段からＡＶデータを選択するＡＶ素材選択手段と、ＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させることを意図するＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と、前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報を蓄積する提供情報蓄積手段と、前記提供情報蓄積手段から前記提供情報と前記有効化情報を選択する提供情報選択手段と、前記ＡＶ素材選択手段で選択されたＡＶデータと前記提供情報選択手段で選択された前記提供情報と前記有効化情報とを多重化して多重化信号を生成する多重化手段と、前記多重化信号を送出規則に従って放送信号に変換し送出を行う送出手段とを備えることを特徴とする放送送信装置であり、提供する時間によって変化があり、しかも放送送信装置の情報提供者が意図して編集したＡＶデータにリンク付けされた提供情報を、現在放送されているＡＶデータに関連する情報として提供することができ、現在放送している番組内容に則した形で提供したい情報を放送送信装置で制御することができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項４に記載の発明は、提供情報が、階層構造に体系化された提供要素で構成され、提供情報選択手段が、前記提供要素の一部または全部を選択するようにしたものであり、提示情報の選択を効率的に行うことができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項５に記載の発明は、提供情報を、指定する前記ＡＶデータにリンク付けたものであり、放送送信装置側の情報提供者は、ＡＶデータにリンク付けした提供情報を、現在放送しているＡＶデータと同時に提供すべき情報として提供する。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項６に記載の発明は、提供要素に、リンク付けされた前記ＡＶデータの情報を記述したものであり、個々の提供要素をＡＶデータにリンク付けることができる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
請求項７に記載の発明は、リンク付けされたＡＶデータを、時間の経過につれて変更するようにしたものであり、情報提供者は、意図して編集したＡＶデータを、提供する時間によって変えることができる。
【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項８に記載の発明は、情報提供者が前記ＡＶデータの再生視聴を意図する範囲を切出情報によって特定し、前記提供情報を、前記切出情報にリンク付けるようにしたものであり、これにより、放送送信装置では、ＡＶデータを切り出す作業と提供情報を作成する作業とを分けることができ、情報提供者の作業を分担し、効率よく情報を提供することができる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項９に記載の発明は、提供情報に、放送受信装置における前記提示情報の蓄積後の提示方法を指定するようにしたものであり、これにより、一度蓄積したＡＶデータや提示情報については、実時間で送信した情報提供者の提供タイミング以外でも提供することができる。また、利用者は番組を蓄積したことによって、その蓄積した提示情報によって番組の先の情報を自由に見ることができる。
請求項１０に記載の発明は、放送信号を受信する受信手段と、前記受信手段が受信したデータを番組の映像や音声から成るＡＶデータとＡＶデータの表示にあわせて再生視聴させることを意図するＡＶデータの一部もしくは全部を指定する提供情報と前記提供情報の一部もしくは全部を指定する有効化情報とに分離する分離手段と、分離された前記ＡＶデータの蓄積処理を行うＡＶデータ蓄積処理手段と、前記ＡＶデータ蓄積処理手段によって蓄積処理されたＡＶデータを蓄積するＡＶデータ蓄積手段と、必要なＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段から選択するＡＶデータ選択手段と、前記分離手段からの前記ＡＶデータと前記ＡＶデータ選択手段からの前記ＡＶデータとで外部出力するＡＶデータを決定するＡＶデータ出力制御手段と、前記ＡＶデータ出力制御手段からの前記ＡＶデータを外部出力するＡＶデータ外部出力手段と、前記分離手段で分離された前記提供情報に対して、受信もしくは蓄積した前記ＡＶデータの一部もしくは全部を指定するようにした提示情報に変換する提示情報蓄積処理手段と、前記提示情報と前記有効化情報を蓄積する提示情報蓄積手段と、前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の一部もしくは全部を前記有効化情報に基づいて選択し、選択した提示情報をもとに前記ＡＶデータ選択手段にＡＶデータの選択指示を行う提示情報選択手段と、前記提示情報選択手段からの提示情報を外部出力する提示情報外部出力手段とを備えることを特徴とする放送受信装置であり、ＡＶデータにリンク付けされた提示情報を、同時に分離したＡＶデータと同時に提示することができ、その提示情報の中の提示要素を利用者が任意に選択することで、その提示要素にリンク付けされた蓄積済みのＡＶデータの一部または全部を再生することができるため、利用者は選択した提示要素に対応する蓄積済みのＡＶデータを見ることができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
請求項１１に記載の発明は、実時間で受信するＡＶデータを前記分離手段で分離して外部出力するとともに、そのＡＶデータを前記ＡＶデータ蓄積手段に蓄積し、実時間で受信する前記提供情報をもとに外部出力すべき前記提示情報を生成し、その中の任意の提示情

報が選択されたとき、蓄積しているＡＶデータの該当するデータを再生するようにしたものであり、放送中の番組を出力しながらその番組を随時蓄積することができるため、放送中の番組のこれまでに放送されたＡＶデータを再生しているときでも早送り再生をすると放送中の番組に追いつくことができたり、放送終了後でもその番組を見ることができる。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
請求項１２に記載の発明は、前記提示情報蓄積手段が、前記提示情報を予め蓄積し、前記放送送信装置から有効化情報が送信されたとき、前記提示情報選択手段が、前記提示情報蓄積手段に蓄積された前記提示情報の中から前記有効化情報によって有効化された提示情報を選択するようにしたものであり、利用者は沢山の蓄積された提示情報の中から、情報提供者がそのときに有効とする提供情報だけを得ることができ、その情報をもとにこれまでに蓄積されたＡＶデータを一部または全部見ることができる。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
請求項１３に記載の発明は、前記提示情報蓄積手段が、放送送信装置から送信されたＡＶデータの再生視聴範囲を特定する切出情報を蓄積し、前記提示情報選択手段が、前記提示情報と前記切出情報とを利用して、前記ＡＶデータ選択手段に対するＡＶデータの選択指示を行うようにしたものであり、提示情報と切出情報との関係が分かり易くなるために、利用者自らが自分の嗜好にあうように編集しやすくなる。また、利用者は情報提供者の意図したときに意図した情報を得ることができる。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
請求項１４に記載の発明は、前記提示情報選択手段によって選択される提示情報が、利用者によって設定された規則、または前記ＡＶデータ出力制御手段から出力されたＡＶデータの出力履歴に基づいて制限されるようにしたものであり、これにより、放送送信装置から送られてきた提供情報を、放送受信装置で提示情報に変換し、放送受信装置側でもその提示情報の中から限られた提示情報だけを有効にする有効化情報を定めることができるので、情報提供者の意図を反映させ、さらに、利用者にとって有効な情報を提示することができる。また、放送受信装置側に多くの提示情報が蓄積されていても、放送送信装置側の情報提供者が現在提供すべき情報を抽出するための有効化情報を送信することで提示情報の提示範囲が狭まり、さらにその上に、放送受信装置側の利用者も限られた提示情報だけを有効にする有効化情報を定めることができるので、情報提供者の意図を反映させ、さらに、利用者にとって有効な情報を提示することができる。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２４４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０２４４】

＜データ送信手段305＞

データ送信手段305は、データ選択手段304から受け取ったデータを放送受信装置200に送信する。データの送信には、放送送信装置100と放送受信装置200との間で用いられている放送波を利用したり、電話回線を利用したインターネットやＣＡＴＶのケーブル等の有線を使用することができる。